

# 2024年度「出前講義テーマ一覧」

目的に応じて選択いただけるよう目安として区分を設けています。  
看護や看護学の紹介などの高校生のキャリア形成支援的な内容を「看護入門編」、  
担当教員の授業の一部などの専門性を少し含めたものを「看護専門編」としています。

看護入門編 看護や看護学の紹介などの高校生のキャリア形成支援的な内容

講義番号	テーマ	概要	氏名	職名	領域
1	看護におけるコミュニケーション	看護職に必要とされるコミュニケーション能力、およびコミュニケーションスキル等についてお話します。(入門編、専門編の希望に合わせて、内容を調整します。)	岡村典子	教授	基礎看護学
2	看護の基礎	看護学に関する基本的な概念をわかりやすく説明し、看護とは何かを教授します。また、看護師の活躍の場について概説します。	川島良子	講師	基礎看護学
3	医療チームと看護	近年、医療を取り巻く状況は日々変化している。医療がチームで行われることについて、歴史的変遷を概観するとともに、医療チームと看護の役割について解説します。	川島良子	講師	基礎看護学
4	筋萎縮性側索硬化症と生きる患者さんについて	NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会の活動を通じて知った難病患者さんがたくましく生きる様子をお伝えします。	小長谷百絵	教授	臨床看護学
5	看護師について知ろう～看護師の思考と行動～	看護師は、患者さんに出会った時、話をする時、一体何を見て、どのように思考してどのような行動を起こすのでしょうか。病院に入院する患者さんと関わる看護師の、専門職としての人のみかたと思、行動に迫ります。	榊澤三奈子	准教授	臨床看護学
6	チーム医療における看護師の役割	病院には、医師や看護師以外に薬剤師や理学療法士など様々な職種があります。そのようなチーム医療における看護師の役割についてお話します。	山田恵子	准教授	臨床看護学
7	心の健康について	現代はストレス社会と言われており、約15人に1人が一生のうちうつ病にかかるといわれています。そもそも目に見えない「こころ」とは何でしょうか？こころの健康・不健康とは？こころの病気になるためにはどうしたらよいのかについて一緒に考えていきましょう。	谷本千恵	教授	地域生活看護学
8	看護と介護	看護と介護を学ぶということ、相違点について考え、どこでどのように学ぶことができるのか一緒に考えてみましょう。	原等子	准教授	地域生活看護学
9	看護師が働く場所と役割	大学病院、療養型病院、精神科病院、刑務所等における看護経験から、看護師が働く場について、高校生のみなさんへ紹介します。また、看護師の役割について、高校生のみなさんと一緒に考えます。	船山健二	講師	地域生活看護学
10	地域で働く看護師と保健師(少人数向け)	地域の様々な場で働く看護師の役割と、個人・家族への支援はもとより人々が生活し活動する集団や組織の健康とQOL(生活の質)維持・向上に向けた支援を行う保健師の魅力を紹介します。またクラス単位など少人数の際は、高校生自身が生活の質を振り返りQOLに向けた支援の理解と高校生のキャリア形成の両者を考えていきます。	前川絵里子	講師	地域生活看護学
11	看護職の活躍の場	看護職の活躍の場について、看護師・保健師・助産師がどのような役割をしているかその特徴についてお話します。進路・職業選択の1つとして看護の魅力をお伝えします。	堀江正男 または 東條紀子	教授 講師	自然科学 地域生活看護学
12	看護学の魅力と看護職への道のり	看護学の歴史、大学での学びの魅力、看護職への道のり等について、クイズをまじえ、分かりやすく解説していきます。AIとの共存や国際化への対応等、看護職の未来についても共に考えましょう。	中村義実	教授	人間環境科学
13	看護英語	近頃、外国人の方が多く日本で生活されるようになった。病院へ患者さんとして訪れる数も多くなると思われます。体験授業のような英語のレッスンにより英語を話す患者さんと看護の間のコミュニケーションに焦点を当て、看護英語を楽しく体験できる講義です。わかりやすい英語で行うことが原則です。	Elderton Simon	准教授	人間環境科学

裏面に続く

看護専門編 担当教員の授業の一部などの専門性を少し含めたもの

講義番号	テーマ	概要	氏名 職名 領域
14	がん患者のTotal Painと緩和ケア	緩和ケアにおける看護師の役割は、がんとがん治療がもたらす様々な苦痛—Total Pain(全人的苦痛)—を抱えたがん患者さんの苦痛の緩和を図り、生活と生の希望を支えることにあります。がん患者さんのTotal Painに対する緩和ケアの実際についてお話しします。	樺澤三奈子 准教授 臨床看護学
15	知っておきたい糖尿病食生活を支える看護	日本人の5人に一人は糖尿病といわれており、世界の中でも日本の糖尿病患者数は、世界で9番目に多い国とされています。糖尿病を持つ人にとって食事そのものが治療となるので、毎日できることがたくさんあります。食生活をどのように看護師として支えていくのか、これから一人暮らしを始めるかもしれない皆さんが、自分で食事を準備するときに、何を大切に考えていくと、糖尿病の予防につながるのかについてお話しさせていただきます。	小林綾子 准教授 臨床看護学
16	小児科病棟で働く看護師のお仕事	小児科病棟で働く看護師のお仕事についてお話しします。家族と一緒に過ごせるマクドナルドハウスの機能と役割についても触れます。	山田恵子 准教授 臨床看護学
17	認知症の人と家族の支援について	「認知症とともに生きる社会」として、子どもから全世代で考えていくことが求められている認知症の人と家族の支援について考えます。	原等子 准教授 地域生活看護学
18	ダメ絶対だけじゃダメ絶対 薬物乱用 !!	覚せい剤や大麻を、使ったらダメなことは、わかります。でも、どうして使うのかを知り、誘われた場合の対処方法について、高校生のみなさんと一緒に考えます。	船山健二 講師 地域生活看護学
19	こころの病気 早期発見と早期対応	令和4年度からの高等学校学習指導要領に「精神疾患の予防と回復」の項目が追加されるに至った意図を踏まえ、精神保健看護学の立場から、経験を交えてこころの病気を早期発見するために知っておきたい症状や対処方法についてお話しします。	船山健二 講師 地域生活看護学